



'84

3月号

No.172号



鹿部中学校第37回卒業式

鹿部中学校第37回卒業証書授与式は、3月18日に同校体育館で行われ、男子44人、女子55人、計99人が卒業しました。

# 鹿部中二つの快挙

その1 米本さん(二年)作文コンクールで全国最優秀

—全国漁業協同組合連合会々々長賞を受賞—

三月一日、全国漁協婦人部連絡協議会の主催による「海の子作文コンクール」中学校の部において、当町中学校二年、米本美穂子さんが、最優秀賞の全国漁業協同組合連合会々々長賞を受賞しました。



海の子作文コンクールは、全国漁協婦人部連絡協議会が主催したもので、米本美穂子さんの書いた「海との生活」が、全道一五七校、一五八一七点の作品の中から、最も優秀な作品と認められ、全道最優秀賞を受賞、その後、北海道

の代表作品として全国コンクールへ出され、全国各地から選ばれた優秀作品の中でも特に優秀であるとして、全国最優秀の「全国漁業協同組合連合会々々長賞」を受賞しました。

米本さんの書いた「海との生活」は、家族五人の漁業を営む生活の様子を中学校二年生の目を通して素直に表現されており、指導に出った木谷鉄蔵先生は「米本さんの目を通して、海とのかかわりあいがよく表現され、テーマに合ったよい作品だと思います。全国最優秀賞受賞をパネに鹿部中の文化面での活動にも力を入れていきたい」と米本さんの努力をたたえ、共に、今後の文化活動により一層の意欲を話していました。米本さんは照れながらも「私の家の家族五人の生活を書いただけで、こんな受賞は思ってもみませんでした。今後はこの賞に負けないようもっと勉強します」と早くも受賞をパネに二層の飛躍を期して、さらに精進することを誓っていました。

## 海との生活

二年 米本 美穂子

私は、小さい頃からこの海とともに生きてきた。漁村に生まれ海を舞台に生活を営んでいる私の家族五人は、いわゆる零細漁師で、決して裕福ではない。

家業は、春は刺網、夏は昆布、秋から冬にかけてハタハタやサケなどで、閉期には父が出稼ぎに行

く。今年春、中学校を卒業した兄、学校の勉強も学年では上位の方で

野球部のレギュラーであったが、姉が通順の高校に進学し下宿しているから、進学を熱心し出稼ぎに出、父と一緒に漁業をすることになった。

母も家計の一助にと親類が営んでいる食堂へパートで出かける。だからわが家は母と私の二人の生活が一定期間始まる。

この生活は、大体四月下旬から昆布とりが始まる七月の上旬頃まで続く。

初めの頃は不安でいっぱいであった。

## 家族五人の海の暮らしを中学校二年生の目を通して素直に表現

出稼ぎ先での事故、母の帰りの遅い夜、風が強くと海が荒れる日等、特にそうで、勉強がまったく手に着かずページが前に進まず、玄関の方へ行ってみたり、テレビを

あちこちまわしてみたり、明るい電燈の下で家族団らんしているであらう友達がうらやましくさと思

われた。しかしこの頃ではすっかり馴れ、潮騒の音も音楽のメロディーの様な感じになり、手作りの料理を楽しんだりする様になった。

七月に入って兄が最初に、すぐ後に父が帰って来た。土曜日になると姉も帰る。久々の家族全員集

合、太陽がいっぱいのわが家、母の笑顔、台所での母の仕事もリズム感がいっぱい、兄の将来の話を聞いたり、姉の高校生活を聞いた

り。「さあ明日から昆布とりの仕事をすると」という父の言葉で夢に入

る。私の家は、じいさんと兄が一緒に船、父は兄のかわりに私と昆布とりに出る。

なる。早く時間にならないかと時計ばかり眺める。波のある時は尚更である。しかし時々見る海底の青、あがってくる昆布の色、船が昆布でいっぱいになった時等は思わず「やった」という感じで疲れも吹飛んでしまう。

今年沿岸の天然昆布の不漁年だという。父は昨年より早く出稼ぎに出る。昨年はこんなことなかったのになあ、なんで不漁年であるのだから。毎年同じ量位とれないんだらうか、兄も将来父と同じ漁師になるのだから、兄の時代

には天然の水産資源が今より減るかも知れない。そうしたら育てる漁業を漁協を中心にもっと研究していく必要がある。

どんな事があったらわが家は他へ転職を考えられないし、私達家族五人は、海との生活を続けなければならぬのだから。



その2

### 川村君(二年)金賞に輝く

—道管楽器コンクール—

一月一九日、札幌市で開催された第〇四道管楽器個人コンクール中学校金賞部門で、函館地区代表として出場した当町中学校二年、川村君が、チューバを演奏し見事金賞に輝きました。



道管楽器個人コンクールは、全日本吹奏楽連盟道支部等が主催し毎年開かれる大会で、全道各地の子連で優秀な成績をおさめた演奏者が集まって個人の演奏力を競うコンクールです。川村君は、一月に開かれた函館地区大会で最優秀賞を受賞し、函館地区代表として一月一九日に開かれた同コンクールに出場しました。

### チューバを演奏し見事金賞

コンクールでは、三年生の木村千佳子さんのピアノ伴奏で、アーバン作曲「プリランテ・ファンタジー」を演奏し、見事金賞に輝いたものです。

同吹奏楽部は、毎年このコンクールに参加し、三年連続の上位入賞を果たしました。吹奏楽部を指導している阿部先生は「毎日の厳しい練習によく耐えた。本番では練習以上の成果を発揮した」と川村君の努力をたたえ、川村君は、「先生の指導とより一生懸命吹きました。あとは九月に開かれる函館地区吹奏楽コンクールでよい成績をおさめ、全道大会へ行きたい」と早くも秋のコンクール(団体)へ向けて猛練習に励んでいます。



### 福村さん北海道善行賞

受賞

—冨年の交通安全指導

が認められる—



二月六日、当町交通安全指導員福村直志さんが、北海道善行賞を受賞しました。

北海道善行賞(交通安全実践賞)は、永年交通安全指導員として自ら街頭において交通安全運動に参加した方に贈られるもので、福村さんは昭和四五年から当町交通安全指導員として毎朝子供たちの登校時に街頭にたつて交通指導をしたものが認められ、今回の受賞となったものです。

福村さんは「冨年の努力が認められ本当にうれしい。今後はこの賞にはじないよう交通事故の絶滅を目標に街頭指導に頑張りたい」と喜びと今後の抱負について語っていました。

### 故関本忠次郎氏が勲六等瑞寶章を授与されました。



故関本忠次郎氏が、二月二五日付をもって勲六等瑞寶章を授与されました。

氏は、大正一四年一月郵便兼配手として鹿部郵便局に勤務し、爾来昭和三六年六月まで実に三七年の長きにわたり郵便兼配事務及び郵政内務事務に従事され、その職務を全うした事により叙勲を受けられたもので、特に昭和四年の駒ヶ岳噴火の時や、旧雨ます川館山への冬期間の配達等では相当なご苦労がありました。しかし在職中は、上司同僚はもとより、地域住民からも信頼されていきました。

滞納が急増しています。…納入に特段のご協力を!

—保険税、町道民税

固定資産税 そして軽自動車税—

—収入の確認を……納期はすぎています—



## 鹿部今昔

-4-

## 鹿部小学校職員の手を挺しての救援

—駒ヶ岳噴火における—

美談—

昭和四年六月一七日未明三時頃、駒ヶ岳は暁の空に爆發し、黒煙は天に昇り、硫黄の強い暗黒色の塵灰が多量に降り、野といわず畑といわず道路、家屋に至るまで一切これを覆った。

高橋校長は、午前四時村役場に村長を訪れ被災状況を報告すると共に今後の方策を協議し、直に引返して、当時から七〇余年前の大爆發に（安政三年の大噴火）全滅した本別に向い、古老有志を訪つて当時の状況を調査し、また本日の児童の出席について十分注意をして帰校したが、時に午前七時であった。同時刻から七時半まで平常通り児童が登校した。学校長は、全職員の出動を待つて万一心配し、緊急職員会議を開いて分業事務を定めた。特に非常避難の際は学団毎に集合し、学校長自ら指揮をとることとした。

午前八時始業、児童五、三三名が校庭に集合して朝礼、その後駒ヶ



大沼から見た駒ヶ岳の噴火

岳の噴火について話をし、万一の場合には学校として最も安全な地点まで避難するが、それまでは安心して授業を受けるように。また、避難する時は、家が沿道であつても列外に出て我が家に立寄らないように」と十分注意した。

その後授業に移り、二教時までは何事もなくすんだが、才三教時に入る午前一〇時五分前、突如一大雷響大爆發の音がし、同時に砂状の灰が降つてきた。驚いて駒ヶ岳の方を見たら、静かな噴煙が一時に変化して渦巻く黒煙は天よりもはやく鹿部の上空に覆り来た。直ちに全職員を非常避難の部署につかせ、全児童を校庭に集合させ、三学団に整列させ学校長自ら指揮をとり避難体制に移った。この間に渦巻く煙は街を覆つて村内はバ

ニック化し、半狂狂の父兄は学校にかけつけ児童の引渡方を追つたが、断固これを断わり、学団順に出発した。

「学団」とは、主として高学年児童を中心として七戸から八、九戸の近隣の家をもつて集團とし、学年が異つても兄弟姉妹一ヶ所に集り、危急の時は長幼相互に助けあう組織であつた。

そして、第一安全地帯は鹿の湯裏の広場、第二安全地帯は宮島令庭田宅附近それ以上は引率職員が安全とみなす箇所まで避難するよう寺島、盛田二教員に委せた。児童の出発と同時に軽石の落下があり、これ以上獅子できないと思ひ、学校長は、御六休（天皇の写真）と御景勅諭本を大高先生にもたせ、村民須賀道程の渦中に交り宮島方面へ避難したが、村内にどれ程の

被害を発生するか殆んど想像できない非常時となつたのである。

一方、児童は二教員の指揮に従い出来る限り急いで第一避難所についていたが危険を感じ第二避難所まで急いだ。しかし、第二避難所も通過し、鹿部と白尻の境界まで避難した。兄は弟を助け、弟は兄に頼り長幼相率いてよく三〇分間に一里半（約六キロ）の道のりを避難した。時は午前十一時にして、始めて危険区域を脱したのであつた。

一方、学校ではますます噴火が激烈化し、危険が迫つたので学校長は、相沢、近江、平田の三教員と重要書類帳簿等を降りしきる軽石の下をくぐつて幸安殿内に運び出し、万一に備えた。

午後一時頃より一層猛烈となり黒煙のために暗黒となり、火災が村内至るところで発生し、また倒壊する家屋が出はじめ、学校々舎はますます危険な状態となつた。

村民の大部分特に婦女子は村内に止まるものは殆んどなかつた。隣村白尻村に入った児童は、あとを返す様に避難し来る父兄に順次渡しながら熊泊小学校（現在の大船小学校）に到着したのは午後二時頃であつた。しかし、ここも降り落ちる軽石が多く生きた心地なかつた。午後四時には遂に暗黒となつたのである。



鹿部海岸の惨状



鹿部市街地裏通りの惨状

つたので、屋内体育館で長幼相擁し、郷村の惨状、父兄の安危を気づかいつつ遂に一睡もできず不安の一夜をここにすごしたのであつた。

(次号に続く)

# 活火山 駒ヶ岳

## 駒ヶ岳の概要

駒ヶ岳は、北緯四十二度〇四分、東経百四十四度四十一分、北海道の西南端に近く、樺道の富士式火山であつて高さ千三百三十三mで、砂原岳、内浦岳とも称し、通称渡島富士をもつて聞こえてゐる。

そして、駒ヶ岳は、那須火山帯に属し、噴火帯を隔てて、その北東に相對する洋陸、有珠、樺前、駒ヶ岳と共にと本邦有数の火山地域をなしている。

山体は、殆んど輝石安山岩の溶岩、溶結凝灰岩、降下軽石、軽石、流堆積物、泥流堆積物から構成されてあり、昭和五十八年五月第三次火山噴火予知計画の中で、新たに活動的で重点的観測研究を行う重点観測火山として追加となつた。

## 噴火の記録

駒ヶ岳は、有史前から度々噴火してゐたが、記録としては、江戸時代初期の寛永一七年(一六四〇年)が最古であり、昭和四年の大噴火まで、大小一三回もの噴火があり、次のとおりです。

寛永一七年六月二三日—大噴火

(一六四〇年七月三十一日)

記録に残る最古にして最大の噴火で、噴火初期において津波が起り、噴火海岸の人家船舶流失、時に見布採取中の和夷船一〇〇余隻を覆没させ、溺死者七〇〇余人と云ふ。噴煙は、津軽より越後に及び、青森の降灰は一〇cmと伝えられる。

噴火が全く終熄したのは、八月二十二日である。

元禄七年七月四日—大噴火

(一六九四年)

元禄七年七月四日朝から六日まで地震、火山雷を伴う大噴火があつた。詳細は不明

明和二年—小噴火

(一七六五年)

小噴火の程度で詳細不明

明和四年二月十七日—小噴火

(一七六七年)

小噴火の記録があるが、詳細不明

天明四年一月十九日—小噴火

(一七八四年二月八日)

小噴火の記録があるが、詳細不明

安政三年八月二十六日—大噴火

(一八五六年九月二十五日)

八月二十六日、早朝、駒ヶ岳の東南山ろくで噴発する地震を感じ、午前九時頃に駒ヶ岳の頂上部で大噴火が起き、黒煙が吹き上げ、東山ろくの当前本別付近

に灼熱した噴出物が落下した。

この為、家屋が焼け始め、次々に降下する噴出物のため消火もできず、本別川の橋下に避難した。また、当町の人々は、海岸に沿いに白尻・川汲方向に避難したが、多くの人が軽微怪我を負つた。当時、東部・本別河地域では、家屋三五軒、人口一八二人であつたが、被害は、死者一名、焼失家屋一七軒(うち一五軒は本別)、磯舟十二隻等であつた。

また、降灰は、東方二五〇mにあたる十勝大津村(現在の大樹町、豊頃町、浦幌町の一部)にも及び、層厚約二cmの降灰があつた。

明治二年四月四日—小噴火

(一八八八年四月四日)

小噴火で被害はなかつた。

明治三八年八月十九日—小噴火

(一九〇五年八月十九日)

八月一六—一七日頃から小噴火があつて、一九日朝に爆発が起つた。はじめは、噴煙が二〇〇—三〇〇mの高さまで上つたが、次第に強まり、二二—二三日は、最も盛んで、噴煙は、一〇〇〇mにも達した。降灰は、一〇〇m四方にも及んだが、降灰量は少なく被害はなかつた。

大正八年六月十七日—小噴火

(一九一九年六月十七日)

六月一六日午後三時五四分より一分二秒間、南北部に比較的大きな微震動の地震を函館測候所(現在の函館海洋気象台)にて観測し、また同日午後五時三〇分頃、西方山ろくの宿野辺村(現在の森町赤井川)にて遠雷の如き鳴動を聞きついで一七日噴火となつた。ついで二四日午前一時当町においても大鳴動を聞き降灰があり、特に城部沢方面山林に降灰が多かつた。

大正一二年二月二十七日—小噴火

(一九二三年二月二十七日)

二月二十七日、午前七時頃突然噴煙し、少量の降灰があつたものの被害はなかつた。

大正一三年七月三十一日—小噴火

(一九二四年七月三十一日)

七月三十一日、午前八時頃よりしばしば鳴動し、同時二〇分頃小噴火と共に黒煙を噴き、高さ二五〇mに達した。しかし、午後六時頃になると鳴動も止み、被害もなかつた。

昭和四年六月十七日—大噴火

(一九一九年六月十七日)

六月十七日、駒ヶ岳は安政の大噴火以来七三年ぶりに大きな活動をした。午前〇時三〇分頃当町で少量の降灰があり、午前三時すぎから降灰が多くなり、午前一〇時、一大鳴動と共に噴火を目撃し、一〇分後に降灰が盛んになり、二〇分後には直径一・五cmの降石となり、直ちに

り一分二秒間、南北部に比較的大きな微震動の地震を函館測候所(現在の函館海洋気象台)にて観測し、また同日午後五時三〇分頃、西方山ろくの宿野辺村(現在の森町赤井川)にて遠雷の如き鳴動を聞きついで一七日噴火となつた。ついで二四日午前一時当町においても大鳴動を聞き降灰があり、特に城部沢方面山林に降灰が多かつた。

大正一二年二月二十七日—小噴火

(一九二三年二月二十七日)

二月二十七日、午前七時頃突然噴煙し、少量の降灰があつたものの被害はなかつた。

大正一三年七月三十一日—小噴火

(一九二四年七月三十一日)

七月三十一日、午前八時頃よりしばしば鳴動し、同時二〇分頃小噴火と共に黒煙を噴き、高さ二五〇mに達した。しかし、午後六時頃になると鳴動も止み、被害もなかつた。

昭和四年六月十七日—大噴火

(一九一九年六月十七日)

六月十七日、駒ヶ岳は安政の大噴火以来七三年ぶりに大きな活動をした。午前〇時三〇分頃当町で少量の降灰があり、午前三時すぎから降灰が多くなり、午前一〇時、一大鳴動と共に噴火を目撃し、一〇分後に降灰が盛んになり、二〇分後には直径一・五cmの降石となり、直ちに

り一分二秒間、南北部に比較的大きな微震動の地震を函館測候所(現在の函館海洋気象台)にて観測し、また同日午後五時三〇分頃、西方山ろくの宿野辺村(現在の森町赤井川)にて遠雷の如き鳴動を聞きついで一七日噴火となつた。ついで二四日午前一時当町においても大鳴動を聞き降灰があり、特に城部沢方面山林に降灰が多かつた。

大正一二年二月二十七日—小噴火

(一九二三年二月二十七日)

二月二十七日、午前七時頃突然噴煙し、少量の降灰があつたものの被害はなかつた。

大正一三年七月三十一日—小噴火

(一九二四年七月三十一日)

七月三十一日、午前八時頃よりしばしば鳴動し、同時二〇分頃小噴火と共に黒煙を噴き、高さ二五〇mに達した。しかし、午後六時頃になると鳴動も止み、被害もなかつた。

白尻方面に避難をはじめた。

午前一〇時から約一時間半は新しいマグマが激しく発泡して、垂直に上昇し、降下軽石として落下堆積した。午後になって、噴火はますます激しく、午後〇時二〇分には、初めて軽石流が少量みられ、午後二時には灼熱した降下軽石により小川方面に火災が発生した。午後九時一一時降下軽石が激しく堆積し、多数の家屋が倒壊したが、午後一時すぎには、噴火が急速に衰へはじめた。

昭和一二年三月十七日—小噴火

(一九二七年三月十七日)

三月十七日及び十九日に小噴火があり、留の沢方面に降灰がみられた程度で被害はなかつた。

昭和一七年一月一六日—中噴火

(一九四二年一月一六日)

一月一六日、午前八時一九分に噴火して、頂上部に延長約一・八kmに及ぶ大亀裂を生じた。山頂付近には噴石、山ろくの当町、森、砂原、大沼一帯に降灰があつた。

今回の噴火は、昭和四年の噴火に比べ著しく小規模であつたが、亀裂は地域的にきわめて広範囲に及び、これが特徴といえる。人畜の被害はなかつたが、落葉樹樹林に若干の被害があつた。

# 新学期を控えて



## 子供の交通事故防止

遊びに夢中になっている子供が、ボールを追いかけて、いきなり道路に飛び出してくる。「キキキッ」と、車の急ブレーキの音——子供はときどき大人が想像もつかないような衝動的な行動をとります。その結果、思いがけない交通事故の犠牲者となってしまふことが少なくありません。

周囲に対する注意力がまだ十分でなく、安全に対する知識も不十分、そして心身ともに発達過程にある子供は、今日の交通事情からみて、お年寄りとともに一番弱い立場にあるといえます。

それだけに、保護者、特にお母さんは、子供に対するしつけ教育として、交通ルールや事故防止のための注意事項などを、ふだんから教えることが大切です。

三月ともなると、子供たちも戸外で遊ぶことが多くなり、交通事故に遭う危険性もそれだけ高くなります。また、この時期は、新入学（園）シーズンを控え、子供に対する交通安全教育が必要な時期でもあります。

子供の交通事故の特徴や行動の特性を理解して、具体的に指導し、子供を交通事故から守ってください。

### 子供の交通事故の特徴

子供の交通事故の特徴としては、次のような点が挙げられます。



#### 犠牲者の二人に一人が 未就学児童

中学生以下の子供の死者は八百四十七人。このうち半分以上の五六％（四七四人）が幼児あるいは幼稚園児の未就学児童。なかでも幼児が全体の三二％と多いのが目立ちます。

#### 一時六時、時間帯別 曜日別、土曜日

交通事故の発生を時間帯別にみると、午後二時から六時の間がいちばん多くなっています。なかでも学校や幼稚園から帰宅後の遊んでいる時間四時～六時が、死者数、負傷者数ともに最も多く、子供にとっては要注意の時間帯です。

また、曜日別では土曜日の事故がいちばん多く、次いで日曜日、月曜日と続いています。

#### 自宅付近50メートル以内 は要注意

幼児・幼稚園児の事故の多くは、自宅から半径五十メートル以内のところで発生しています。自宅付近が最も多いわけですが、



#### 飛び出し事故が最も多い

年齢が高くなるにつれて自宅から遠くなる傾向にあります。

路上への飛び出しによる事故が最も多く、全体の六割を占めています。次いで、駐車中あるいは走行中の自動車の「直前直後の横断」が二八・五％となっています。以下、信号無視、路上での遊び、などとなっています。

#### 一時不停止、安全不確認—— 自転車乗車中の事故

自転車乗車中の事故原因をみると、一時不停止が最も多く二八％。次いで、安全の不確認二％、信号無視八％などとなっています。これら三つの原因が全体の約六割を占めています。

（データは、警察庁・昭和57年交通統計）

## お母さんが先生です

## 新入学(園)児の交通安全

新入学(園)まで、あとわずかです。

いつでも、どこでもお子さんが安全に行動できるようにするためには、日常生活のなかでの、日ごろのお母さんの努力こそがものをいいます。

子供を交通事故から守るために、知ってもらいたいこと、ぜひお子さんに教えてもらいたいことを、まとめてみましょう。

具体的な  
教え方を

●実際の体験を通して教えることが大切です。

通学、通園時間に合わせて、お子さんと一緒に通学(園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方を指導



するようにならせます。

また、同じ道でも、時間や曜日によって交通事情が変わることも併せて教えておきましょう。

●子供には「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」といっても、あまり効果めはありませんが、安全な行動を具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。

●道路を横断する前に、必ずいったん停止する習慣をつけさせましょう。それには日ごろから曲り角では必ず止まるなどの習慣をつけて注意深い子供に育てましょう。

●道路で遊ばないように、ふだんから徹底して注意しましょう。最近では、裏通りを通る車が多くなっています。いっそうの注意が必要です。

## 生活にゆとりを

また、子供が毎日の生活で時間のゆとりを持つことも、交通事故に遭わないうための大切なポイントです。

●寝る前に翌日の準備をすませるように習慣づけ、登校時間に余裕をもたせるようにしましょう。

あわてて登校し、忘れ物に気づいて家に引き返す途中で、事故に遭うケースが多いのです。

帰宅後の遊び  
にも注意を

●帰宅後、遊びに行つてよい範囲や帰宅時間などを決めて、子供にしっかり守らせるようにしましょう。

## ドライバーの皆さんへ

子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんの安全運転と、子供たちへの思いやりが必要で



ぜひ、次の点を厳守してください。

●子供の「飛び出し」は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目にし、徐行運転を。

●子供が道路を横断しようとしているときは、後続車に合図を。

●発進、後退のときは、周囲に子供がいなかを確認！  
●左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいなことを十分確かめて徐行を。

●子供に自転車を利用させる場合には、子供の年齢や体力に合ったものを遊び、ときどきお子さんと一緒に点検や整備をしましょう。

●お子さんが、お母さんとの毎日の楽しい語り合いのなかで、正しい交通ルールを理解し、お母さんのお手本によって、安全な行動を身につけられるように、温かい愛情をもって指導してあげてほしいものです。



カメラ・アイ

第37回

鹿部中学校卒業式

鹿部中学校第37回卒業証書授与式は、3月15日に同校体育館で行われ、卒業証書番号二七八〇〜三八七八号までの男子四四人、女子五五人の計九十九人が卒業しました。



大切な卒業証書を  
しっかりとらもつて

健康に気をつけ、自分のもてる力を出し切り、中学校で学んだ事を学習の境、仕事の場で発揮してもらいたい。  
また、心を大切に、自らの行くべき道を誤らないように。  
(校長先生の式辞より)



第37回

鹿部小学校卒業式

鹿部小学校第37回卒業証書授与式は、3月19日に同校体育館で行われ、卒業証書番号四〇六六〜四一六八号までの男子五二人、女子五一人の計一〇三人が卒業しました。



思いやりのある人になって下さい  
(校長先生のことばより)



第10回

しかべ幼稚園卒園式

しかべ幼稚園第10回卒園式は、3月17日に同園ゆき室で行われ、男子四四人、女子三七人の計八一人が卒園しました。





月日	区域	場所	時間
四月二十七日(金曜日)	出来調	出来調会館前	9:40~10:00
		吉田商店前	10:10~10:20
		木村幸雄宅前	10:20~10:40
	本別	高本吉弘宅前	10:40~11:00
		加藤一二三宅前	11:00~11:20
		投場前	11:30~12:00
	宮浜	家保水産前	13:00~13:15
		バス会社前	13:20~13:50
	鹿部	鹿部第2集会所前	13:55~14:00
		大岩	大岩生改センター前



登録料 2,100円  
注射料 1,700円  
合計 3,800円

注射で、後日戸別に注射する時は4,500円になります。

昭和五十九年第一回(春期)狂犬病予防注射を次のとおり行いますので最寄りの場所を受けて下さい。

(民生課)

### 愛犬に 狂犬病予防注射を

## お知らせ



### 食品並びに営業従事者の 健康診断を行います

町では次のとおり食品並びに営業(業態等)従事者の健康診断を行いますので対象者は、必ず受診して下さい。

(1)日時 4月18日(水)

午前10時~午後3時

(2)場所 鹿部会館

(3)対象者 商店・旅館・理美容院・飲食店の従事者

(4)料金 無料です。

(民生課)

### 寄付のお礼

西郷市の鮫江泰久氏より、故新谷功氏の香典の一部から10万円を町福祉協議会へご寄付がございました。会では二芳志通り有効に活用させていただきます。

### 国民年金保険料

四月から六、三二〇円に

年金の支払財源は、みなさんが納付した保険料の積立金と国の負担によるものですが、そのうち三分の二が保険料でまかなわれていて、したがって、保険料の収入が年金財政にとってもっとも重要なのです。

保険料の額は、将来予想されるいろいろな要素(例えば平均寿命、加入者数、受給者数)などを想定して決められますので、適正な負担についてご理解とご協力をお願いいたします。

五十九年度の保険料月額は、六、三二〇円です。(付加保険料は、従来どおり四〇〇円加算されます)

尚、四月中に一年分前納されますと、  
定額保険料年額 一、八〇〇円  
付加保険料年額 一、九二〇円  
が割引されます。

前納する方は民生課国民年金係へ申し出ください。

### 国民年金保険料の 納め忘れはありませんか

国民年金に加入している皆さん、保険料の納め忘れはありませんか。保険料を納付期限までに納めないと、万一、病気やケガで障害者になったときに不幸にして夫を亡くしたとき、障害年金や母子年金が受けられないこともあります。

また老齢年金は六十歳までに保険料を納めた期間と、保険料を免除された期間を合算して二十五年以上(昭和五年四月一日以前に生れた者は十年から二十四年の短縮があります)あることを条件に、六十五歳から支給されますが、もし、一ヶ月でも滞納になると、二十五年に満たないときは、年金が支給されません。

将来、老齢年金を安心して受けるためにも保険料はきちんと納めましょう。五十八年度保険料の納付期限は四月末日までです。

## 自衛官を募集中



▷資格：新中卒以上で18才~25才未満の男子

▷給与：初任給 98,200円

10ヶ月後 106,800円

ボーナス 4.9ヶ月分

※特別退職手当(継続任用した場合でも支給されます)

1 任期(2年目) 100日分 約36万円

2 任期(4年目) 200日分 約79万円

受付は常時下記で行っています。

・投場総務課 (☎72111)

・自衛隊函館地方連絡部 (☎0138336242)

おたんじよう  
西村 宗



問

私は、国民健康保険に加入している者ですが、父が病気で半年くらいも入院しています。入院費も毎月相対払っていますが、国保に「高額療養費支給制度」という制度があると聞きました。これについておしえて下さい。

(宇宮浜 一町民)



答

高額療養費支給制度とは、同じ人が、同じ月内に、同じ病院に五万一千円以上(町民税の非課税世帯にあっては三万九千円以上)の医療費を支払った場合、その五万一千円(三万九千円)を超えた分について国保が負担して、あとで払い戻す制度です。つまり、国保の被保険者は、どんなに重い病気やけがで医療費が高くなっても自己負担額は月五万一千円(三万九千円)を支払えばお医者さんにかかれるものです。このように、この制度は、被保険者の医療負担をできるだけ軽減しようという貴重な制度です。高額療養費の支給を受けるためには、申請書を出さなければなりませんので、該当されると思われる方は民生課へお尋ね下さい。また、被保険者の申請により、被保険者が医療機関へ五万一千円(三万九千円)だけを支払えば、残りは町が直接病院等へ支払います。

委任方式という制度や、賞付金の制度もありますので詳しくは、役場民生課へお尋ね下さい。

自己負担額の計算法

- ① 月の一日から月末まで、つまり、暦月ごとの受診について計算します。
- ② 一つの病院ごとに計算します。(二つ以上を合計することはできません)
- ③ 総合病院の各診療科での医療費は、それぞれ別計算になります。
- ④ 同じ病院で内科などと歯科がある場合、歯科は別計算となります。
- ⑤ 一つの病院でも、通院と入院は別計算になります。
- ⑥ 保険がきかない差額ベッド料や基準看護の病院に入院した時の付き添い看護料などは保険診療の対象となりません。

(民生課 国保係)



おたんじよう  
おめでどう

世帯と人口

(59. 2. 29現在)  
( ) は前月比です。

世帯数	1,330世帯 (+2)
男	2,553人 (+4)
女	2,555人 (+1)
計	5,108人 (+5)

世帯の急増

氏名	享年	住所
梶谷ハツ	八一才	別所
新谷功	八五才	別所
西村和美	八一才	別所
宇佐美治	八一才	別所
松本八二才	八二才	宇宮浜



おくゆみ  
もうしあげます

氏名	父	住所
松本綾	文博	別所
阿部希	一行	別所
村川重	幸司	鹿部
木村和	静雄	鹿部
高本港	一信	鹿部
吉田杉	健一	鹿部
松川晋	誠	鹿部
伊藤晋	哲治	鹿部
阿部友佳里	元治	鹿部
大清水清	和久	別所
中村圭佑	和久	別所

4月の救急病院

- 4月1日……佐々木外科医院(七飯町) ☎0138653520
- 4月8日……澤田医院(鹿部町) ☎(7)2105
- 4月15日……西谷医院(七飯町) ☎0138652330
- 4月22日……渡辺病院、美ヶ丘病院(大野町) ☎0138778761
- 4月29日……望ヶ丘医院(七飯町) ☎0138658111
- 4月30日……安田医院(七飯町) ☎0138657341

——診療時間は午前9時～午後4時——